

相談支援つうしん

<第105号>2025年 1月8日
県立湘南支援学校 支援連携グループ
相談支援班 ~教師編~

今回の相談支援つうしんでは、小学部・高等部で行っている支援について紹介します。

【小学部】 「タイムタイマーの活用について」

タイムタイマーは、時間を可視化したものです。真ん中のつまみ部分を回すと色つきフィルムが出てきます。(赤や緑のものが多く) 約束の時間をセットするだけでタイマーが動き出し、フィルムが0に向かって進んでいきます。

フィルムが徐々に少なくなっていくので見ただけで残り時間がわかります。

見通しを持たせたり、時間を意識させたりしたい児童生徒に使用してみてもいいかもしれません。



事例紹介

Aさんは、基本的にマイペースな児童です。授業の始まりの時間に間に合わないこともしばしば…。Aさんとは、「長い針が8になったら終わりだよ」などと教室の時計の針を指さして確認したり、キッチンタイマーを設定したりして終わりの時間を確認していましたが、なかなかうまくいきませんでした。そこで、給食前の休み時間と給食の時間のみ、タイムタイマーを使用してみました。休み時間には、一緒にタイムタイマーをみながら時間を設定し、「長い針が8のところまで遊ぼう。緑が無くなったらおしまいだよ」と伝え、時間が終わる前に「あと少しだね」と本人と確認しました。するとタイマーの音を聞いて使っていたおもちゃを片づけることができました。給食も終了の時間を設定し、時々タイマーで残りの時間を確認することで終了までに食べ終わられることが増えてきました。タイマーを見て急ごうとする場面も見られてきています。時間が見えるようになったことが本児にとって時間を意識するきっかけになったように思います。時計とタイマーを合わせて使うことで時間の感覚も身につくといいなと思います。



このタイマーは、時計もついているので「あと何分」と「今何時」が一緒に確認できます。

【高等部】 「自分の状況を伝えるカードについて」

高等部では、次のようなカードを使って、自分の体調や助けてほしいということを教員に伝える練習をしています。紹介する3つのカードは同じ生徒が使用しています。



このカードは、体調が悪いことを教員(支援者)に伝えるためのカードです。いつもは筆箱につけていて、体調不良をいつでも伝えられるようにしています。

このカードを使用している生徒は、いつも独り言を話しており、体調が悪いなどの状況が分かりづらいです。そのため、困っていることを伝える手段があればと思い作成しました。

体調不良のときに、近くにいる教員にカードを渡し指差して自分の状況を伝えています。

〈気持ちを伝えるカード〉



このカードを使って、生徒の今の気持ちを確認しています。これを使う以前は自分の感情を教員（支援者）に伝えることができず、泣いたり大きな声で独り言を言ったりしていました。

しかし、このカードを活用することで、「不安」や「楽しい」という感情を、指差して伝えたり言葉で伝えたりできるようになりました。伝えることで、なぜ不安なのかなどを話すきっかけとなりました。

〈不安なときどうするかカード〉



不安感が強い時に泣き出してしまったり、独り言が大きくなったりする生徒のため、そのような時にどうしたいかを確認しています。

今では小さく印刷・ラミネート加工をして筆箱につけて、不安が強い時に、教員（支援者）にどうしたいか伝える練習をしています。

このカードで使用しているイラストは「いらすとや」「ソコスト」というサイトのイラストを使用しています。「ソコスト」はシンプルなイラストが多いので興味のある方や「いらすとや」ではないものを使ってみたい方は、サイトの方をチェックしてみてください。

自分の気持ちを伝えられることで、生徒が少しでも過ごしやすくなり、安心にもつながってけると良いなと思っています。

<p>相談カード（教員用） 記入日 令和 年 月 日</p> <p>対象児童生徒 小・中・高 年 氏名（イニシャル）</p> <p>1. どのようなご相談ですか？（○をつけてください）</p> <p>①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について ⑤家庭に関すること ⑥ その他（ ）</p> <p>2. 困っていることは何ですか？</p> <p>3. 今後どのような方法をご希望ですか？ ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④他校専門職との連携 ⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他（ ）</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">担任→相談支援班へ提出をお願いします。</p>
